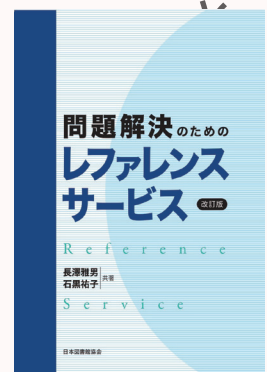
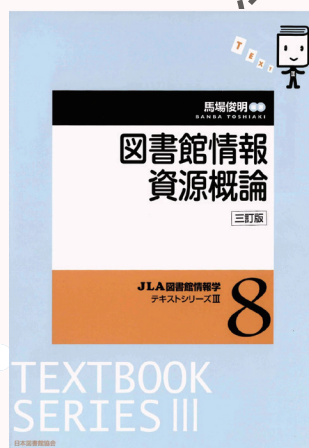
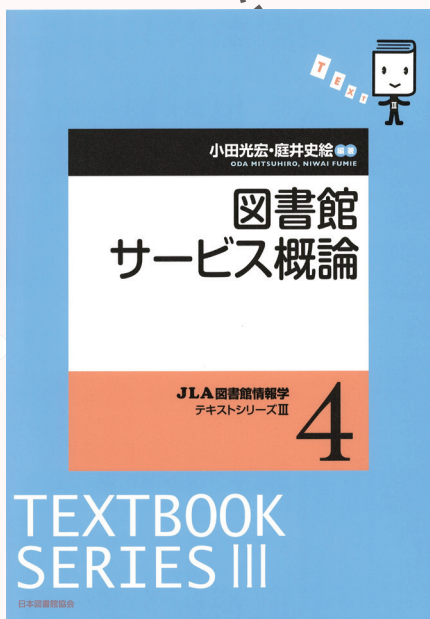


2024 年度

司書・司書補養成課程

新刊テキストのご案内



公益社団法人 日本図書館協会

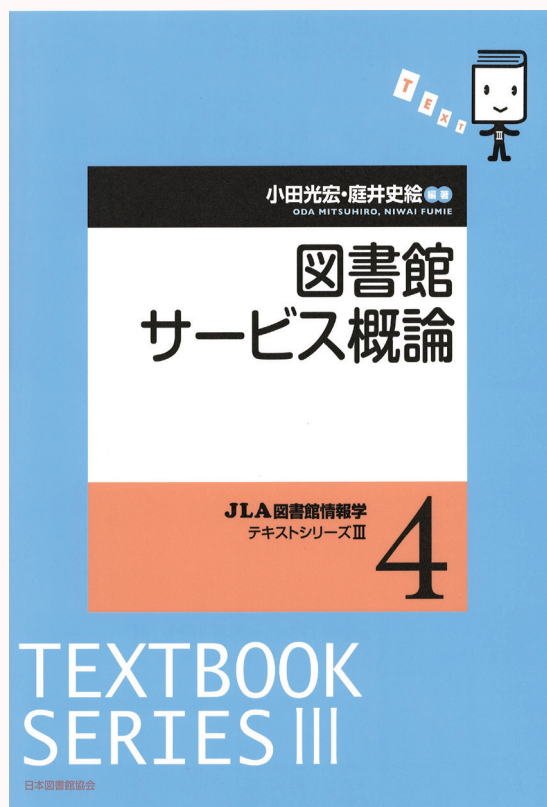
NEW!

多様化する図書館サービスをフォローする
待望のテキストブック！

図書館サービス概論

JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ-4

小田光宏・庭井史絵編著 分担執筆：伊東達也・井上靖代・松林麻実子



新しい時代の図書館サービスの広がり
を丁寧に解説したテキストブックが完成
しました。本シリーズ第Ⅱ期の『図書館サ
ービス論』を精査し、いつの時代にも通用
する基本的な知識と、時代とともに変化
した考え方を識別し、内容を一新しまし
ました。各地で実践されている多様なサ
ービスを、原理（モデル）に基づいて構造的
に理解する力を身に付けられるようにし
ています。構成は、図書館サービスの意義、
計画、担い手をはじめ、各サービスの特性、
対象、課題など、さまざまな観点を含み
ます。豊富な option を設け、関連するト
ピックに目を向けています。図書館サ
ービスの本質をとらえる際の必携書です。

B5 254p 定価 1900 円（税別）
ISBN978-4-8204-2308-9

2023 年 12 月 15 日刊

目次と UNIT の（本書のねらい）は…

シラバス作成に役立つ 14のまとめ

サービスの原理を 踏まえた解説

サービスの担い手や 空間にも着目

CONTENTS

●貸出サービス

UNIT 19	貸出サービスの構造	100
UNIT 20	貸出の方式と手続	104
UNIT 21	返却・督促の手続	110
UNIT 22	リクエストサービス	114
option H	歴史的な貸出方式	108

●資料提供サービスの展開

UNIT 23	図書館間相互貸借	118
UNIT 24	団体貸出	122
UNIT 25	広域利用制度	126
UNIT 26	遠隔サービス	130
option I	図書館における「モノ」の貸出	125

●情報提供サービス

UNIT 27	情報提供サービスの意義	134
UNIT 28	利用者からの相談	138
UNIT 29	質問回答サービスの展開	142
UNIT 30	図書館利用教育	146
option J	排架と配架	137
option K	真ん中にあってもコーナー	141
option L	サービスの成果を用いたサービス	145

●電子図書館サービス

UNIT 31	電子図書館サービスの展開	150
UNIT 32	デジタル資料の提供	154
UNIT 33	ネットワーク環境下での情報提供サービス	158
option M	コロナ禍に対応した非来館型サービスの展開	162

●図書館サービスをとらえる視点

UNIT 34	利用目的と利用対象への着目	164
UNIT 35	課題解決支援サービス	168
UNIT 36	各種機関と連携したサービス	172
option N	正しいこと、適していること	167
option O	新たな図書館サービスを生み出すコレクション	171

目次

テキストシリーズⅢ刊行にあたって	3	
はじめに	4	
UNIT 0	「図書館サービス概論」を学ぶにあたり	10
●図書館サービスの意義		
UNIT 1	図書館の機能とサービス	12
UNIT 2	図書館サービスの役割と制度	16
UNIT 3	図書館サービスの種類	20
UNIT 4	図書館サービスとネットワーク	24
option A	IFLA-UNESCO 公共図書館宣言 2022 (抄)	27
●図書館のサービス計画		
UNIT 5	サービス計画の立案	30
UNIT 6	基準とクオリティ	40
UNIT 7	業務分析	48
option B	図書館の設置及び運営上の望ましい基準 (抄)	33
option C	IFLA 公共図書館サービスガイドライン (第2版) (抄)	43
option D	公共経済学から考える図書館サービス	52
●図書館サービスの担い手		
UNIT 8	業務組織と分掌	54
UNIT 9	職員の種別と能力	58
UNIT 10	外部資源の活用	62
option E	フロアマップから読み取るサービス空間	64
●利用空間のデザイン		
UNIT 11	フロア構成	66
UNIT 12	書架配置	70
UNIT 13	図書館家具の選択	74
UNIT 14	サインシステム	78
option F	ICチップ (ICタグ) の活用	73
option G	図書館における創造的な空間	82
●来館者へのサービス		
UNIT 15	閲覧サービスの意義	84
UNIT 16	館内利用に対するサービス	88
UNIT 17	排架の原理と工夫	92
UNIT 18	フロアワーク	96

●利用者の特性に配慮したサービス

UNIT 37	児童サービス	176
UNIT 38	ヤングアダルトサービス	184
UNIT 39	高齢者サービス	190
UNIT 40	多文化サービス	194
option P	IFLA 児童図書館サービスのためのガイドライン—0 歳から 18 歳 (改訂版) (抄)	180
option Q	乳幼児サービスの展開	188

●利用に障害を持つ人へのサービス

UNIT 41	合理的配慮への対応	198
UNIT 42	視覚障害者へのサービス	202
UNIT 43	多様な障害への対応	206
option R	移動図書館はいずこへ	201

●地域に根ざした図書館サービス

UNIT 44	地域情報の提供	210
UNIT 45	集会・文化活動	218
UNIT 46	学校図書館との連携・協力	222
option S	これからの図書館像—地域を支える情報拠点をめざして (抄)	214
option T	学校司書とモデルカリキュラム	226

●図書館サービスをめぐる課題

UNIT 47	図書館サービスと著作権	228
UNIT 48	プライバシーの尊重	232
UNIT 49	利用者モラルとトラブル対策	236
UNIT 50	利用促進活動	240
option U	図書館サービスとその対価	235
option V	調査データにみる図書館サービス	244

参考文献 246

事項索引 250

執筆者紹介 254

「図書館サービス概論」を学ぶにあたり

●……………司書養成科目としての位置付け

本書では、図書館サービスに関する原理（しくみ）を扱っている。すなわち、図書館で提供されているさまざまなサービスが、どのような考え方のもとで、どのように組み立てられているかを学ぶことになる。

現行の「図書館法施行規則」に示されている司書養成のための図書館に関する科目は、概説的な科目を基盤に、サービスに関する科目と情報資源に関する科目から構成されている。「図書館サービス概論」は、概説的な科目である「生涯学習概論」と「図書館概論」に基づいて、図書館サービスの基礎を学ぶ科目である。そして、情報資源の概要を学ぶ「図書館情報資源概論」とともに、図書館に関する問題を考究する際の基礎的な科目と位置付けられている。一方、この科目に沿って、個別のサービスに関して展開した「情報サービス論」と「児童サービス論」が存在する。

また、図書館サービスは、図書館経営の根幹となる要素の一つであることから、「図書館制度・経営論」で扱う内容と深い関係がある。また、現代の図書館サービスの多くがICTに支えられていることを考えると、「図書館情報技術論」で扱う知識や技術を見逃すわけにはいかない。

「図書館サービス概論」を学ぶ際は、こうした科目間のつながりに留意するとよい。大学の司書養成の課程や司書講習においては、それぞれの科目を修得することの意味が、各科目の単位を集めることと置き換えられがちである。しかし、一つの科目の単位が取れたらその科目に関する理解は終わり、ではないのである。「図書館サービス概論」で学んだ内容が、ほかの科目をさらに深く理解することに結び付いていることを強く意識してこそ、学習が有意義なものになると期待される。

●……………サービスは現場で行われる

映画としてはすでに四半世紀前のものであるが、「踊る大捜査線THE MOVIE 湾岸署史上最悪の3日間!!」のセリフ「事件は会議室で起きてるんじゃない!現場で起きてるんだ!!」は強烈であった。この名セリフの図書館版を作るならば、「サービスは教室で行われてるんじゃない!図書館の現場で行われてるんだ!!」となろうか。映画の主人公・青島俊作刑事のような憤りによるものではないが、図書館サー

UNIT 0では
本書での学びを
豊かにするポイントを
示しています。



審査用見本の申込み
受け付けます。
詳細は最終ページを
ご覧ください。

(2024年1月31日締切)

ビスの真髄を感得するには、教室での授業で学ぶ「理論」（または、理屈）だけでは難しいという問題意識が背景にある。

本書においても、理論の解説に加えて、実務に関係する知識や技術が多く登場する。しかし、扱われている内容を読んで知るだけでは十分とは言えない。体を使って確認することを加える必要がある。すなわち、実践の場に足を運び、五感を活用して図書館サービスの実際を体感することが大切なのである。物怖じしては、億劫がっている、実践的で実用的な知識や技術は身に付かないと心得てほしい。

また、実践の場を数多く訪れることが重要なのは、図書館サービスには、多様な形態が存在するからである。地域が異なれば、図書館で提供されるサービスの種類や範囲は異なる。性質の点で共通すると思われても、図書館の規模によってサービスの様態は変わる。サービスの原理は同じでも、経営方針によって目的や水準は違うものとなる。10の図書館があれば、10の図書館サービスが行われているのである。しかも、こうした多様なサービスは、現代社会の急速な発展の影響を受け、めまぐるしく変容し、新たな事象が登場している。そうした側面を意識できるようするには、やはり、教室+現場における学習を行うことが効果的である。

●……………「そもそも」と「たまたま」

「図書館サービス概論」を学ぶ方の大半は、図書館を頻繁に利用していると推測され、図書館サービスについて説明できるのではないだろうか。仮に利用の頻度が高くなくても、図書館サービスは目に見える事象であることから、「図書館サービスとはこのようなことだ」と語れそうである。しかし、ここには落とし穴がある。説明できる内容は、それぞれの経験知であるという点である。すなわち、あなたの知っている図書館サービスは、いずれの図書館でも「そもそも」提供されるものと伝えられているのだろうか。もしかすると、あなたの知っている図書館サービスは、「たまたま」目にしたに過ぎないものかもしれない。現場を知るとは、経験知の幅を広げ、図書館サービスに対する偏った認識、偏った見方に陥らないための方策にもなるはずである。

この科目を学ぶにあたっては、自分が利用してきた図書館と、そこで行われている図書館サービスのことを、一度頭の中から取り除いて読み進めることが肝要である。もちろん、利用者としての経験は、図書館サービスを分析する際に、貴重な視座をもたらすであろう。しかし、学び始める際には、謙虚な姿勢で取り組んでいただきたい。学ぶ内容は、提供されている図書館サービスが、どのような考え方のもとで、どのように組み立てられているか、つまり、図書館サービスの原理（しくみ）である。

NEW!

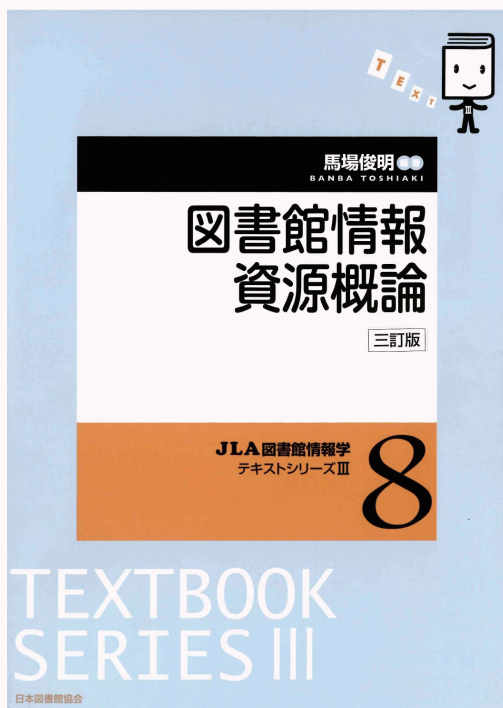
2024年1月刊行予定

最新の情報にアップデートして再登場

図書館情報資源概論 三訂版

JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ-8

馬場俊明編著 分担執筆:井上靖代・山本昭和



2018年に刊行した『図書館情報資源概論 新訂版』をアップデートした最新版です。一部の「option」を差し替えたほかは、全体の「UNIT 構成」はそのまま引き継いでいます。旧版と同様、公立図書館のありかたを今日的視点で再検討、再評価しながら、印刷メディア、非印刷メディアおよびネットワーク情報資源の種類や特質、利用、取扱いにかかわる図書館業務の基礎的知識を解説し、動向と課題を考察します。新訂版の刊行後、図書館情報資源をとりまく社会環境、すなわち電子出版をはじめとする出版界・流通の状況、著作権などの制度、情報通信技術などの変化が顕著です。これらに対応するため、最新の状況を反映した加筆修正を行い、統計数値等の更新を含め、三訂版として刊行することになりました。省令科目「図書館情報資源概論」ならびに「図書館情報資源特論」の学習用テキストとして、また実務者の参考書として、ご利用をお勧めします。

B5 270p 定価 1900 円 (税別)

ISBN978-4-8204-2309-6



主な目次を次ページでご紹介します

“ ”

主な目次

(2023年12月1日現在、実際の書籍と一部異なる場合がございます)

◎図書館情報資源

- UNIT 1 図書館情報資源の意義
- UNIT 2 情報革命と活字文化
- UNIT 3 図書館情報資源の類別
- UNIT 4 図書館員の専門性：資料を知ること
- option A 本のある風景
- option B 図書館員の倫理綱領（一部抜粋）

◎印刷資料

- UNIT 5 図書
- UNIT 6 雑誌
- UNIT 7 新聞
- UNIT 8 小冊子・地図、その他資料
- option C 新刊書出版点数経年変化
- option D ISBN（国際標準図書番号）
- option E ISSN（国際標準逐次刊行物番号）

◎非印刷資料

- UNIT 9 点字・録音資料
- UNIT 10 マイクロ資料
- UNIT 11 映像資料
- UNIT 12 音声資料
- option F 図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン

◎電子資料

- UNIT 13 電子資料
- UNIT 14 ネットワーク情報資源
- UNIT 15 図書館資料のデジタル化
- UNIT 16 電子コンテンツ
- UNIT 17 電子出版
- option G 電子図書館サービス提供方針
- option H 都道府県立図書館のデジタルアーカイブの名称
- option I 電子出版と電子図書館サービス（仮）

◎資料特論

- UNIT 18 灰色文献
- UNIT 19 政府刊行物
- UNIT 20 地域資料
- UNIT 21 人文・社会科学分野の情報資源
- UNIT 22 自然科学・技術分野の情報資源
- option J 情報公開条例
- option K 野洲市図書館管理運営規則（抄）

◎出版流通システム

- UNIT 23 出版の意義
- UNIT 24 出版・書店・図書館
- UNIT 25 出版流通経路
- UNIT 26 再販制度
- option L 出版物の流通経路

◎図書館の「知的自由」

- UNIT 27 図書館の自由
- UNIT 28 「図書館の自由」と検閲
- UNIT 29 図書館の自由に関する宣言
- UNIT 30 図書館情報資源と著作権
- option M 「図書館の権利宣言」
- option N 「図書館の自由」をめぐる事件

◎蔵書論

- UNIT 31 蔵書の意義
- UNIT 32 収集方針
- UNIT 33 複本と予約
- UNIT 34 蔵書の更新
- option O 茨木市立図書館資料収集方針
- option P 「任務と目標」数値基準データ（2003年）

◎収集と選択

- UNIT 35 選書の意義
- UNIT 36 選書論
- UNIT 37 選書の方法
- UNIT 38 選書のための情報源

◎蔵書管理

- UNIT 39 蔵書評価法
- UNIT 40 除籍と廃棄
- UNIT 41 資源共有
- UNIT 42 分担収集
- UNIT 43 分担保存
- option Q 図書館パフォーマンス指標 JIS X0812
- option R 田原市図書館資料除籍基準
- option S 除架に対する不安
- option T 相互補完的な分担収集事例：小平市立図書館 A, B
- option U 福岡県公共図書館等協議会雑誌分担保存に関する協定書

◎資料の組織化

- UNIT 44 受入業務
- UNIT 45 登録業務
- UNIT 46 資料の装備
- UNIT 47 予算の管理
- option V 受入業務の流れ

◎書庫管理

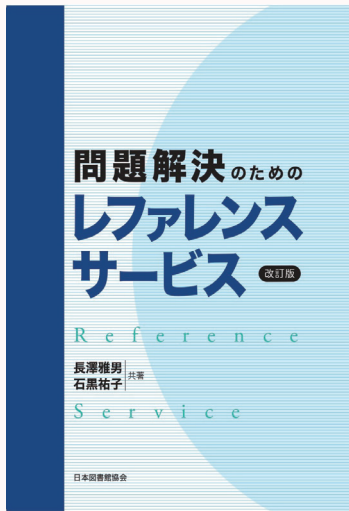
- UNIT 48 書庫管理の意義
- UNIT 49 蔵書点検
- UNIT 50 保存とメディア変換

NEW!

レファレンスサービスの新たな展開を見据え
16年ぶりに改訂!

問題解決のための レファレンスサービス 改訂版

長澤雅男・石黒祐子共著 A5 319p 定価 1800円 (税別)
ISBN978-4-8204-2305-8



『新版 問題解決のためのレファレンスサービス』の刊行から16年、レファレンスサービスをめぐる環境は大きく変わりました。インターネット情報資源が多く活用されるようになり、従来のレファレンスブックを用いたサービスとともに新たな情報源の特徴を理解し使いこなす必要があります。本書は、旧版におけるレファレンスサービスの基本をベースに、レファレンス事例を豊富に取り上げ、特にインターネットを利用した解答事例を詳しく解説しています。『レファレンスブックス 選びかた・使いかた』とともに、レファレンスサービスへの深い理解と、より幅広いサービスの展開に役立つ必携の1冊です。

第2章

図書館におけるレファレンスサービス

第1部第2章を チラ見せ

2.1 図書館の機能

ひとくちに〈図書館〉といっても、いろいろな種類がある。一般に、図書館の主要な館種としては、公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館などがあげられる。これらの館種に属する図書館のうちにも、相互にかなり性格を異にする図書館が含まれており、それぞれはさらに類別することができる。

こうした図書館の種類や性格を特
種類と利用者群であ
るのは



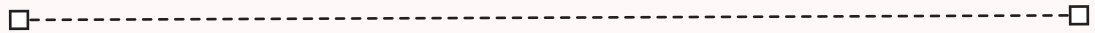
『レファレンスブックス 四訂版』と
あわせてお使いください。

★JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ ラインナップ★

- 1 巻 図書館概論 五訂版 塩見昇編著
- 2 巻 図書館制度・経営論 永田治樹編著
- 3 巻 図書館情報技術論 大谷康晴編著 *制作進行中
- 4 巻 図書館サービス概論 小田光宏・庭井史絵編著
- 5 巻 情報サービス論 小田光宏編著
- 6 巻 児童サービス論 新訂版 堀川照代編著
- 7 巻 情報サービス演習 新訂版 大谷康晴・齋藤泰則共編著
- 8 巻 図書館情報資源概論 三訂版 馬場俊明編著
- 9 巻 情報資源組織論 三訂版 柴田正美・高畑悦子著
- 10 巻 情報資源組織演習 三訂版 和中幹雄・横谷弘美共著
- 11 巻 図書・図書館史 小黒浩司編著
- 12 巻 図書館施設論 中井孝幸・川島宏・柳瀬寛夫共著
- 別巻 図書館員のための生涯学習概論 朝比奈大作著

1・2・4・6～10・別巻：1,900円 5巻：1,800円 11・12巻：1,300円

*すべて税別



☆レファレンスサービス関連書籍 ラインナップ☆

- レファレンスブックス 選びかた・使いかた 四訂版 長澤雅男・石黒祐子共著 1,400円
- 問題解決のためのレファレンスサービス 改訂版 長澤雅男・石黒祐子共著 1,800円
- 実践型レファレンス・サービス入門 補訂2版 (JLA 図書館実践シリーズ1)
斎藤文男・藤村せつ子著 1,800円
- れふぁれんす百題噺 (JLA 図書館実践シリーズ42) 榎盛可那子・樋渡えみ子編著 1,800円
- レファレンスサービスの射程と展開 根本彰・齋藤泰則編 3,000円

*すべて税別



審査用見本の送付をご希望の方は、右記 QR コードよりウェブフォームにアクセスし、お申し込みください。また、日本図書館協会の書籍のテキスト採用予定につきましても、こちらから情報を送信していただければ幸いです。



ウェブフォーム

公益社団法人日本図書館協会

●書籍に関するお問い合わせ先●

内容について：出版部（編集） shuppan@jla.or.jp

販売について：出版部（販売） hanbai@jla.or.jp



2023.12